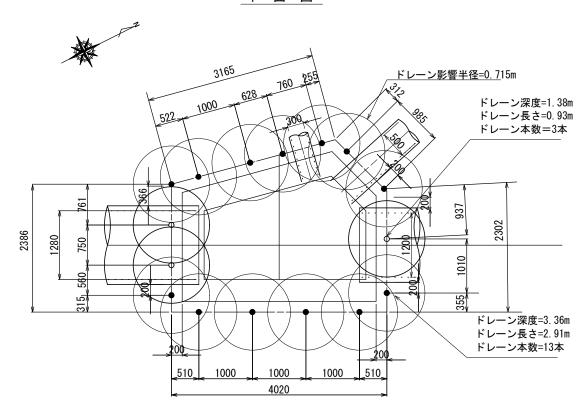


M26 開削工法詳細図 s=1/50

平 面 図



	ドレーン深度	本数	ドレーン長さ	ジョイント	ドレーンキャップ	先端ビット
•	3.36m	13本	2. 91m	26個	13個	13個
0	1.38m	3本	0. 93m	_	3個	3個

※ジョイントは、標準2mに1個とする

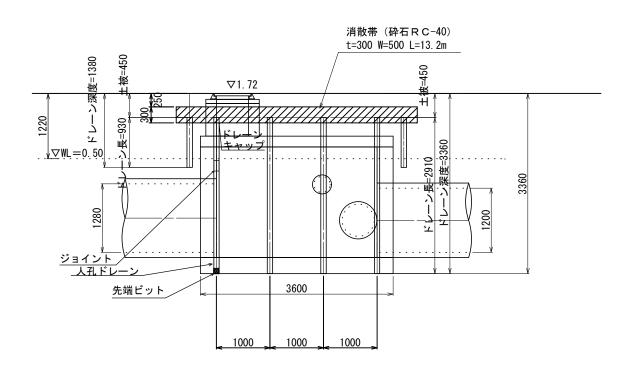
ドレーン影響半径

DR=0.715m

ドレーン標準間隔

DP=1.01m

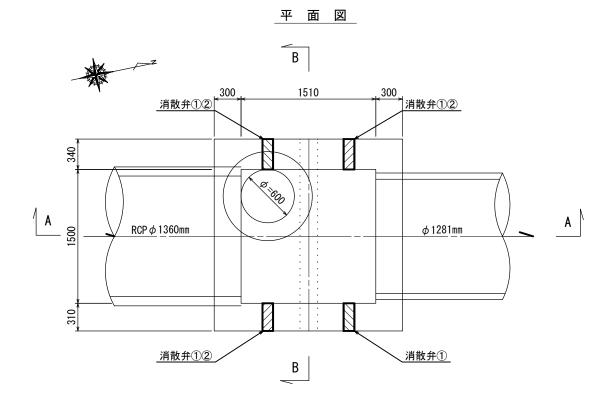
断 面 図



※人孔外幅は試掘により確認すること。 地下埋設物は試掘により確認すること。

※この図面はA 2 サイスを原引とする。						
I	事	名	平成30年度 下 橋内第一排水区		-	
施工箇所名			津市東	丸之内ほか	5町 地内	
図 面 名		名	M26 開削工法詳細図			
縮		尺	1/50	図面番号	2/24	
事業所名			津市下水	道局下水	道建設課	

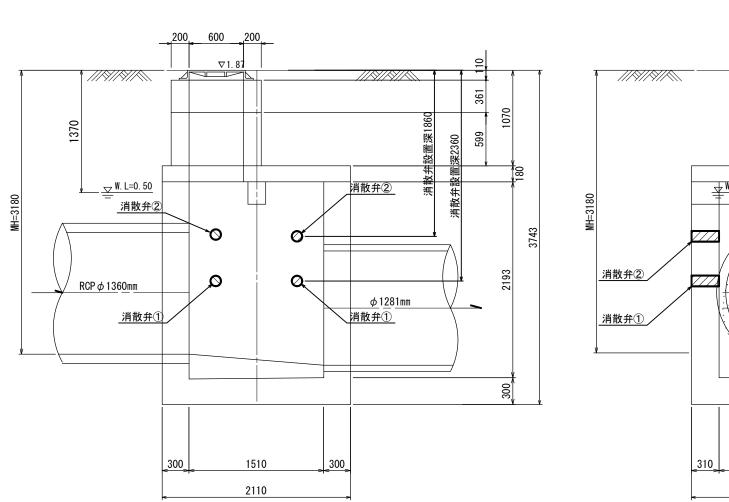
M27 非開削工法詳細図 (人孔内施工) s=1/30

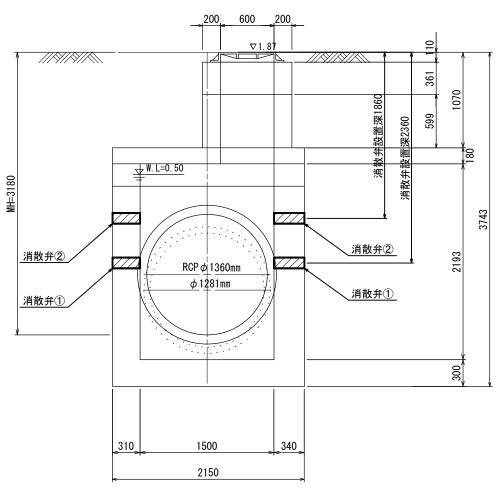


A-A 断面図

【消散弁設置の留意事項】

- 1. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。



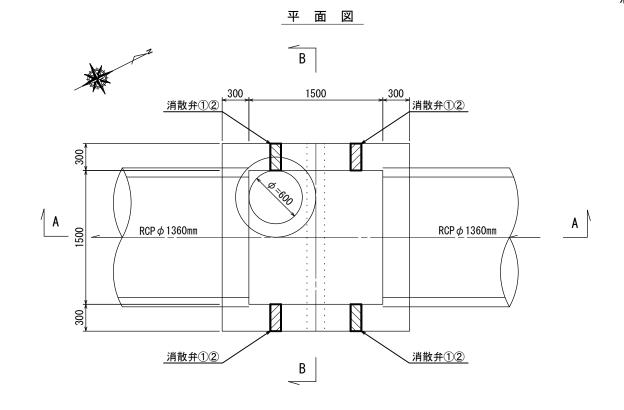


B-B 断面図

工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事		
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内		
図 面 名	M27 非開削工法詳細図		
縮尺	1/30 図面番号 3/24		
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

M28 非開削工法詳細図 (人孔内施工) s=1/30

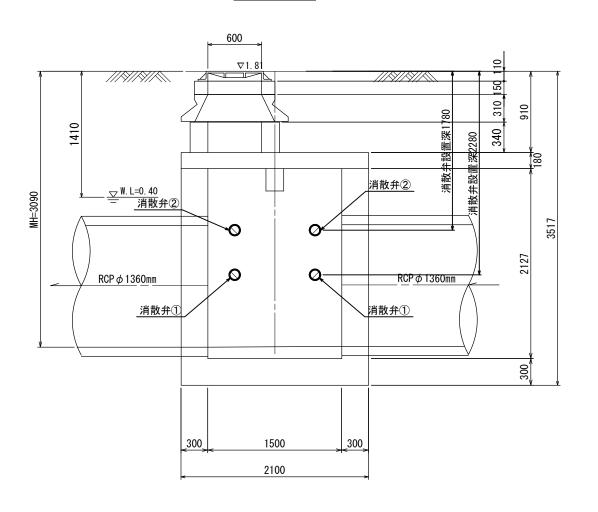
消散弁8箇所設置

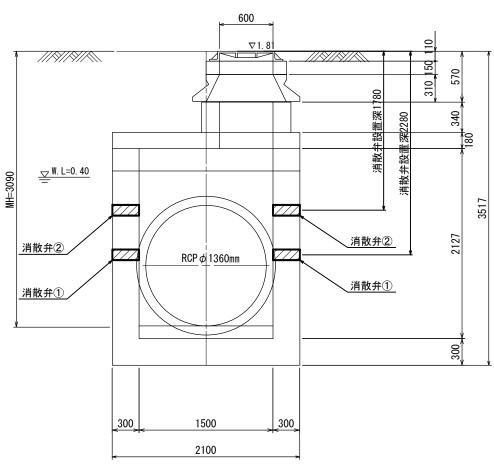


【消散弁設置の留意事項】

- 1, 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

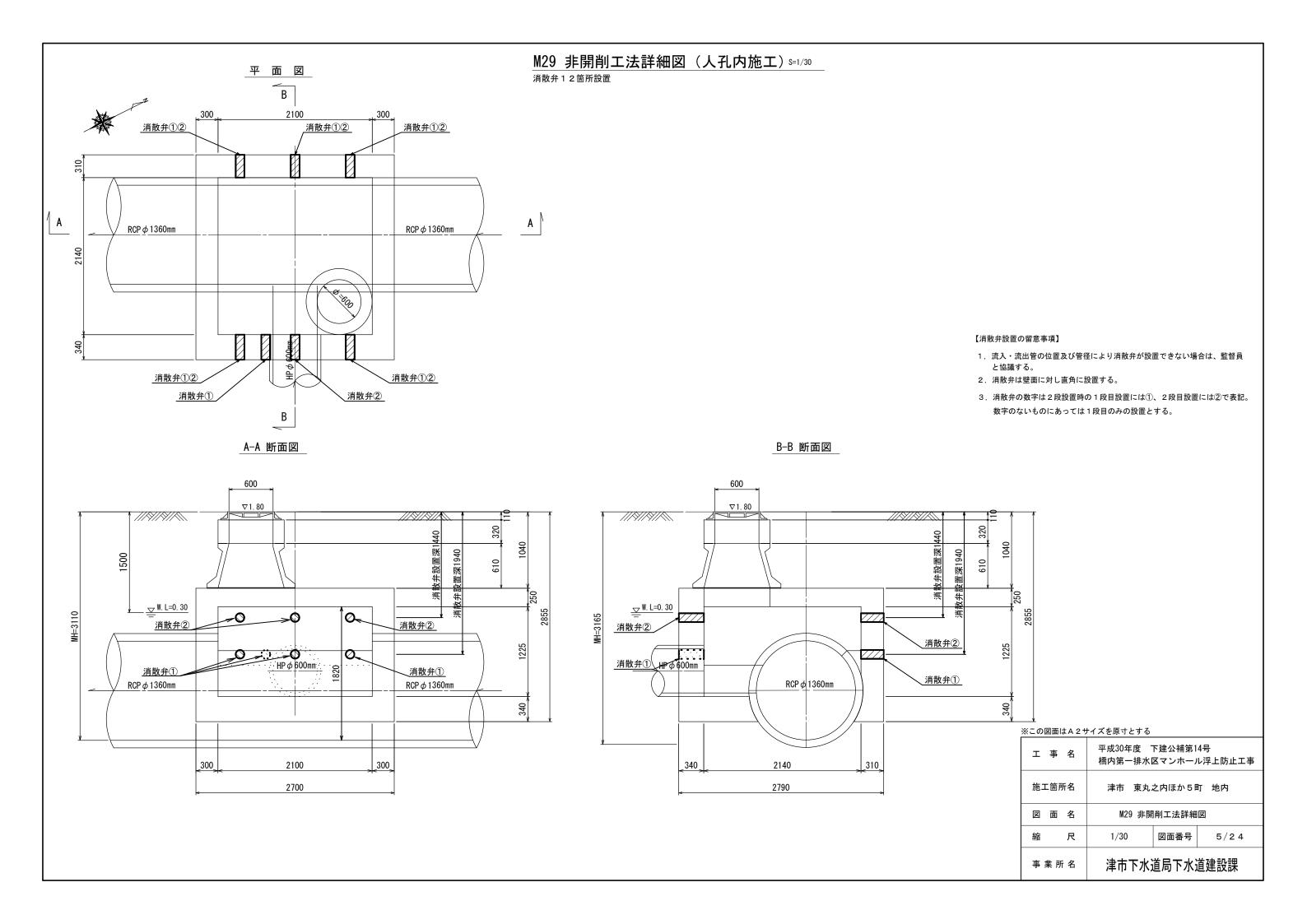
A-A 断面図



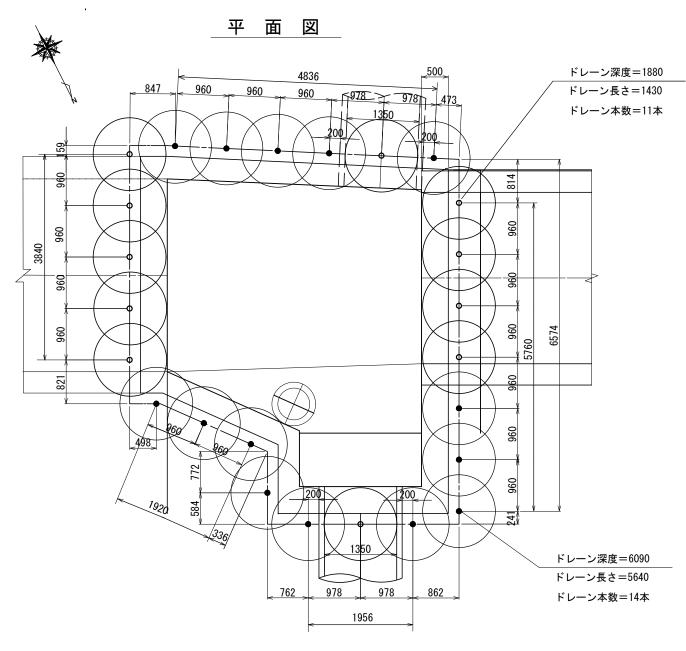


※この図面はA2サイズを原寸とする

工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内
図 面 名	M28 非開削工法詳細図
縮尺	1/30 図面番号 4/24
事業所名	津市下水道局下水道建設課



M30 開削工法詳細図 s=1/50

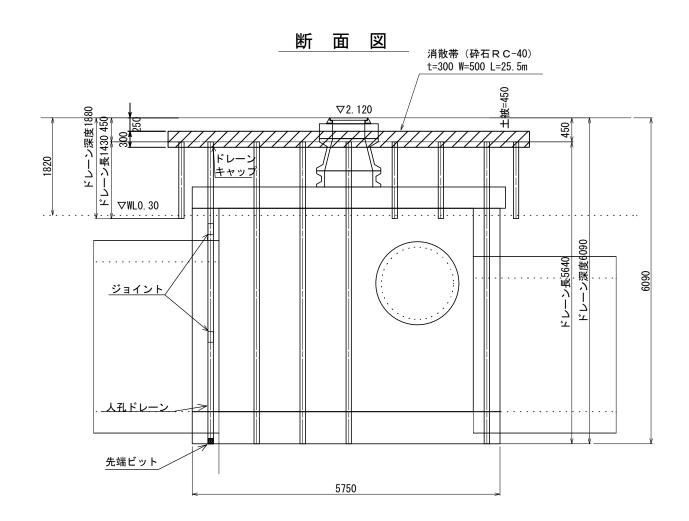


ドレーン深度	本数	ドレーン長さ	ジョイント	ドレーンキャップ	先端ビット
• 6.09m	14本	5. 64m	28個	14個	14個
o 1.88m	11本	1. 43m	_	11個	11個

※ジョイントは、標準2mに1個とする

ドレーン影響半径 DR=0.68m

ドレーン標準間隔 DP=0.96m



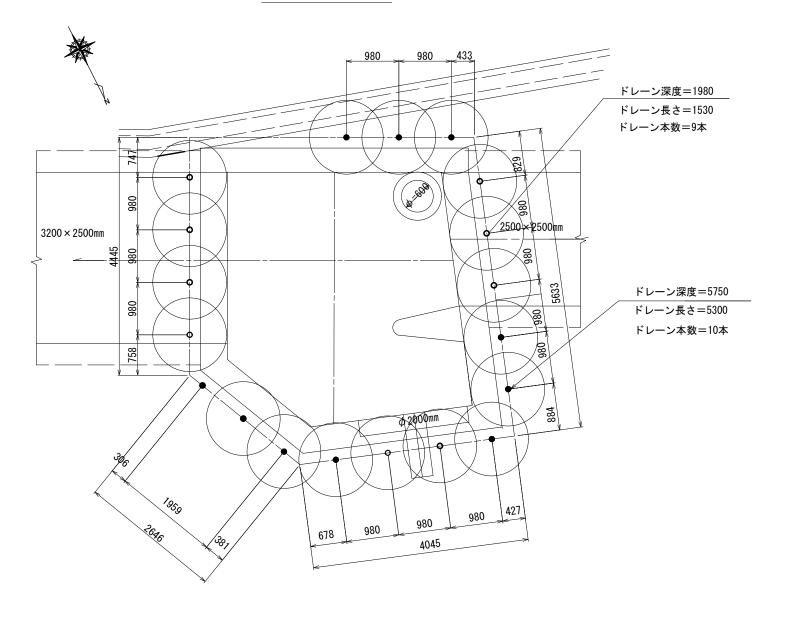
※人孔外幅は試掘により確認すること。 地下埋設物は試掘により確認すること。

念との国面は名とうう人を振りとする。						
エ	事	名	平成30年度 橋内第一排水		14 号 ル浮上防止工事	
施工箇所名			津市 東丸之内ほか5町 地内			
図 面 名			M30 開削工法詳細図			
縮		尺	1/50	図面番号	6/24	
事業所名			津市下水道局下水道建設課			

M31 開削工法詳細図 s=1/50

平 面 図

断面図



	消散帯(砕石RC-40) t=300 W=500 L=19.2m
< 4950	20
∇2.010	英-450
1 2 2 2 2	ZJ 45
191 19	1404
1610 1610	
	4
	: - 長=5300 ン深度=5750 5754
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ジョイント	/ \
	3350 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
<u> 入孔ドレーン </u>	
 	
	009
	<u> </u>
先端ビット 500 4000 450	
4950	

※人孔外幅は試掘により確認すること。 地下埋設物は試掘により確認すること。

ドレーン深度 本数 ドレーン長さ ジョイント ドレーンキャップ 先端ビット • 5. 75m 10本 5. 30m 20個 10個 10個 o 1.98m 9本 1. 53m 10個

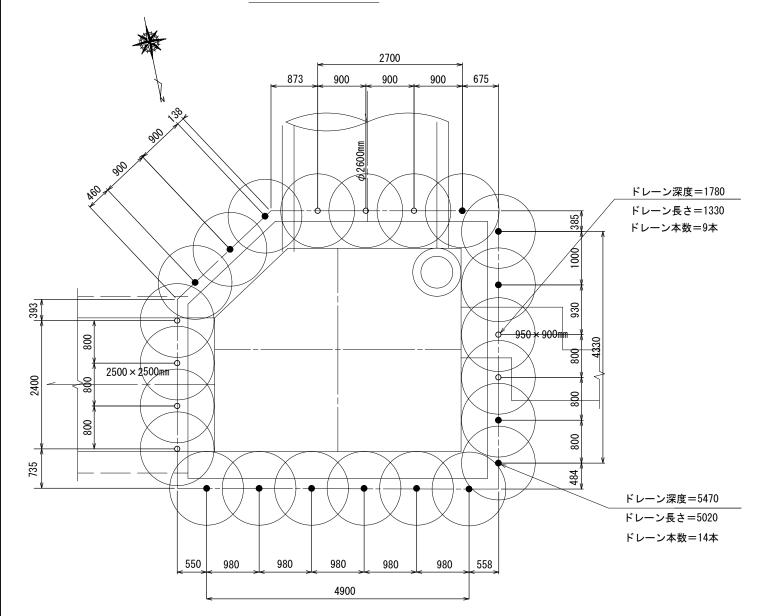
※ジョイントは、標準2mに1個とする

ドレーン影響半径 DR=0.69m ドレーン標準間隔 DP=0.98m

工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事				
施工箇所名	正工箇所名 津市 東丸之内ほか5町 地内				
図面名	M31 開削工法詳細図				
縮尺	1/50	図面番号	7/24		
事業所名	津市下水	道局下水	道建設課		

M33 開削工法詳細図 s=1/50

平 面 図



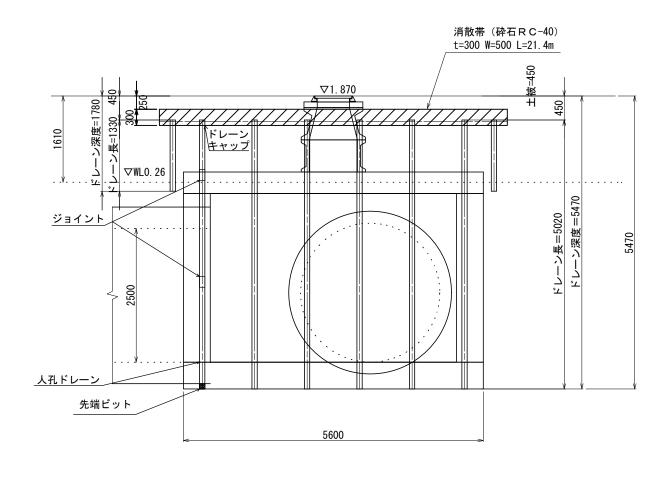
ドレーン深度	本数	ドレーン長さ	ジョイント	ドレーンキャップ	先端ビット
● 5.47m	14本	5. 02m	28個	14個	14個
o 1.78m	9本	1.33m	_	9個	9個

※ジョイントは、標準2mに1個とする

ドレーン影響半径 DR=0.69m

ドレーン標準間隔 DP=0.98m

断面図

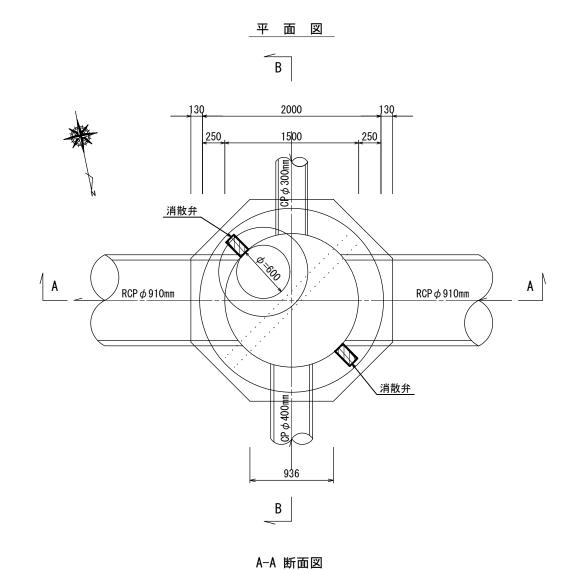


※人孔外幅は試掘により確認すること。 地下埋設物は試掘により確認すること。

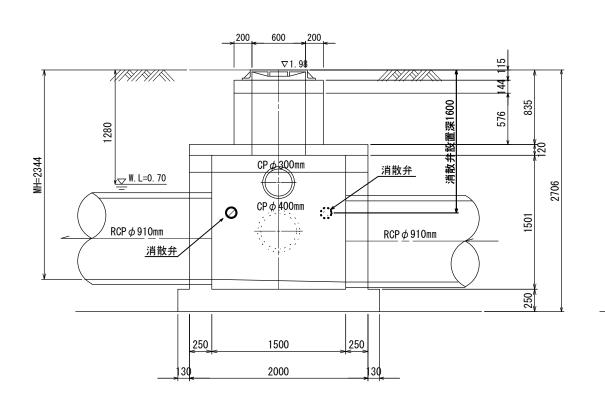
ж — одда от техно от					
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事				
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内				
図 面 名	M33 開削工法詳細図				
縮尺	1/50 図面番号 8/24				
事業所名	津市下水道局下水道建設課				

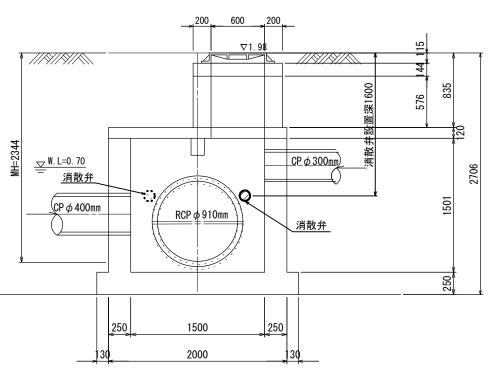
M68 非開削工法詳細図 (人孔内施工) S=1/30

消散弁2箇所設置



B-B 断面図





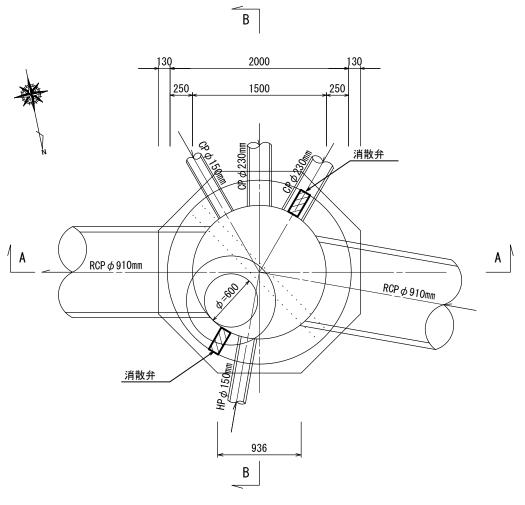
【消散弁設置の留意事項】

- 1, 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

工事名	名 平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事					
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内					
図 面 名	M68 非開削工法詳細図					
縮尺	1/30 図面番号 9/24					
事業所名	津市下水道局下水道建設課					

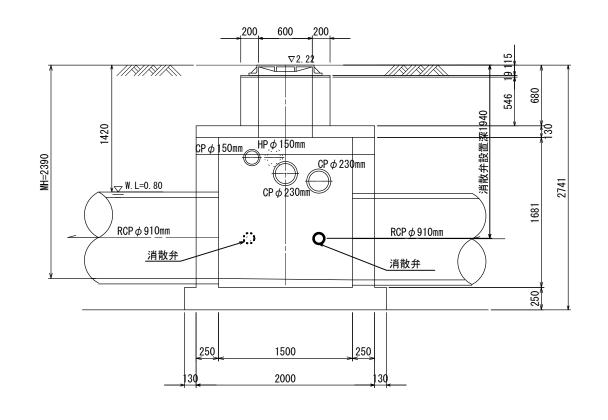
M69 非開削工法詳細図 (人孔内施工) s=1/30

消散弁2箇所設置



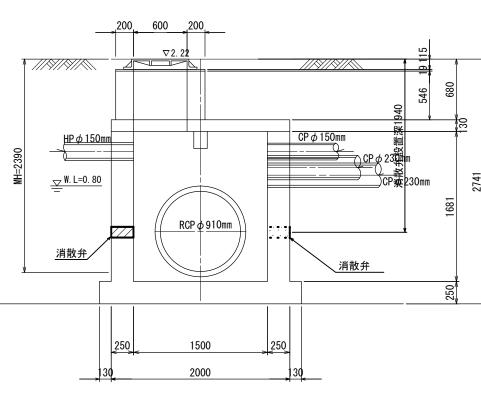
平 面 図

A-A 断面図



【消散弁設置の留意事項】

- 1, 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。



	※この図面はA2サイズを原寸とする								
	エ	事	名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事					
v	施工箇所名			津市 東丸之内ほか5町 地内					
				M69 非開	削工法詳細	図			
	縮尺		尺	1/30	図面番号	10/24			
	事業所名			津市下水	道局下水	道建設課			

M70 非開削工法詳細図(人孔内施工)S=1/30 消散弁2箇所設置 平 面 図 В 2000 1500 消散弁 Α $FRP \phi 900mm$ $HP \phi 830$ mm 1800 【消散弁設置の留意事項】 消散弁 1. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。 936 В A-A 断面図 B-B 断面図 600 600 ∇2. 5**4** ∇2. 5**4** *//>//>/ ///\/\/\ CP φ 150mm $CP \phi 230mm$ 消散弁 ₩. L=1. 00 ₩. L=1. 00 . $HP \phi 830$ mm $HP \phi 800mm$ **Φ** HP φ 800mm ::: $HP \phi 830mm$ $\mathsf{FRP}\,\phi\,900\mathsf{mm}$ FRP Ø 900mm 消散弁 消散弁 消散弁

250

1500

2000

250

250

1500

2000

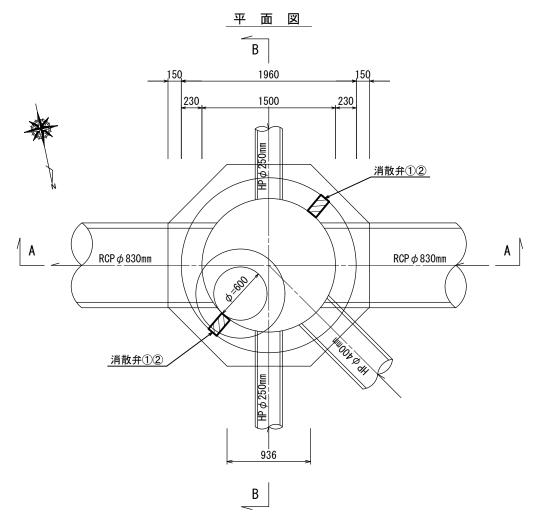
250

※この図面はA2サイズを原寸とする

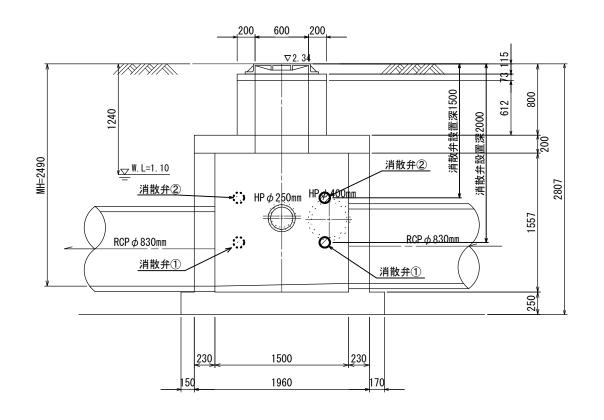
人との四面はAとり1人を示りとする					
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事				
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内				
図面名	M70 非開削工法詳細図				
縮尺	1/30 図面番号 1 1/2 4				
事業所名	津市下水道局下水道建設課				

M71 非開削工法詳細図 (人孔内施工) S=1/30

消散弁4箇所設置

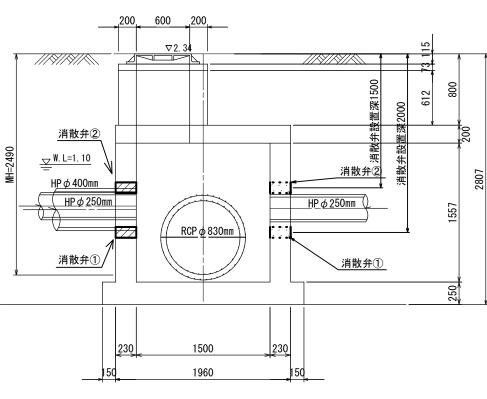


A-A 断面図



【消散弁設置の留意事項】

- 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

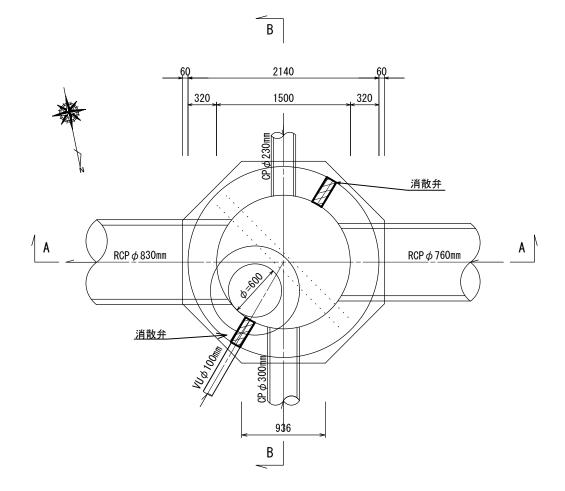


※この図面はA2サイズを原寸とする

工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事			
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内			
図面名	M71 非開削工法詳細図			
縮尺	1/30 図面番号 1 2/2 4			
事業所名	津市下水道局下水道建設課			

M72 非開削工法詳細図(人孔内施工) s=1/30

消散弁2箇所設置



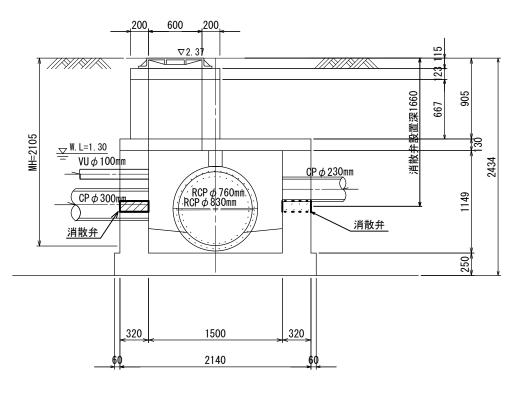
平 面 図

A-A 断面図

200 600 200 マ2.37 マ2.37 W. L=1.30 RCP φ 830mm 対し φ 100mm 消散弁 CP φ 300mm 消散弁 CP φ 300mm 消散弁 の90 2140 90 320 1500 320 90 320

【消散弁設置の留意事項】

- 1, 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

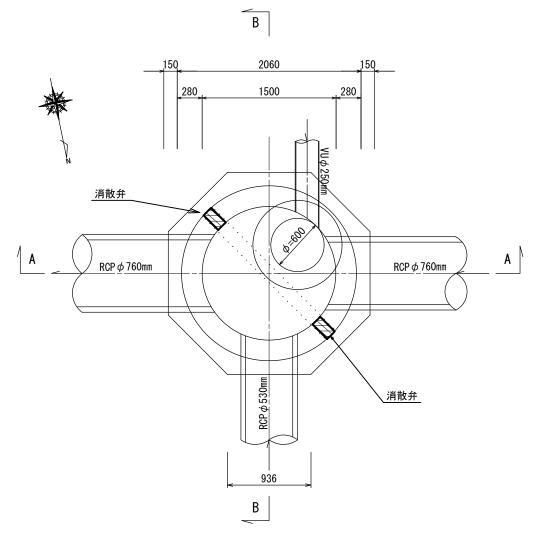


※この図面はA2サイズを原寸とする

,					
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事				
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内				
図 面 名	M72 非開削工法詳細図				
縮尺	1/30 図面番号 13/24				
事業所名	名 津市下水道局下水道建設課				

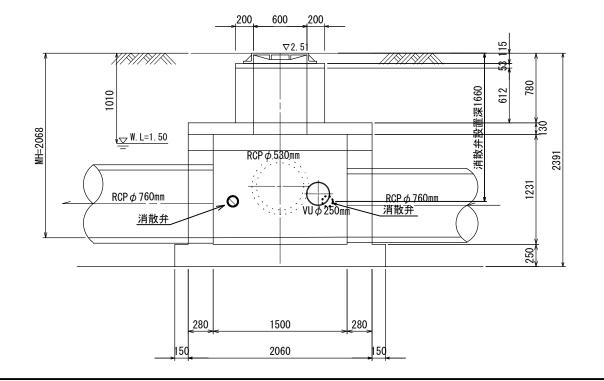
M73 非開削工法詳細図 (人孔内施工) s=1/30

消散弁2箇所設置

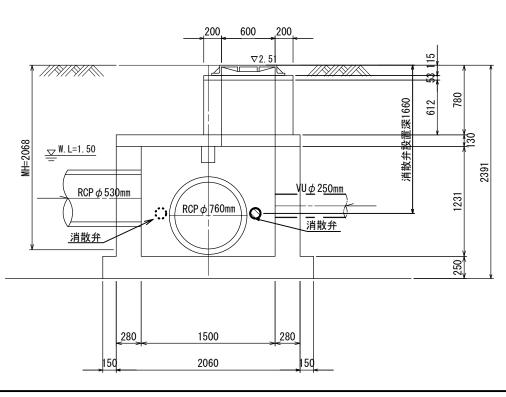


平 面 図

A-A 断面図



B-B 断面図



1, 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員

3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。

数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

【消散弁設置の留意事項】

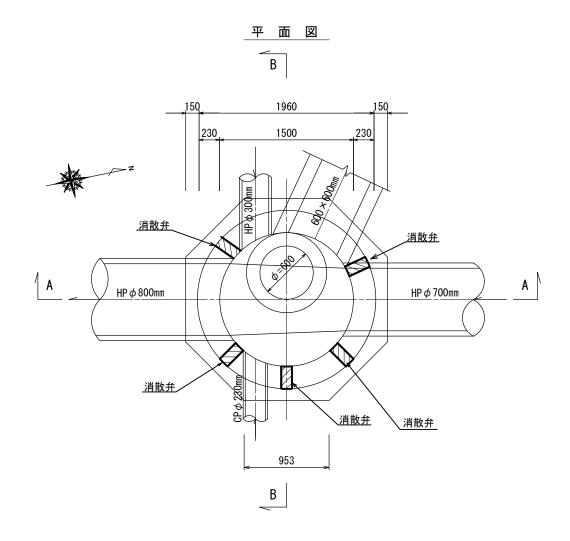
と協議する。

2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。

※この図面は A 2 サイズを原寸とする				
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事			
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内			
図面名	M73 非開削工法詳細図			
縮尺	1/30 図面番号 1 4/2 4			
事業所名	津市下水道局下水道建設課			

M80 非開削工法詳細図 (人孔内施工)s=1/30

消散弁5箇所設置

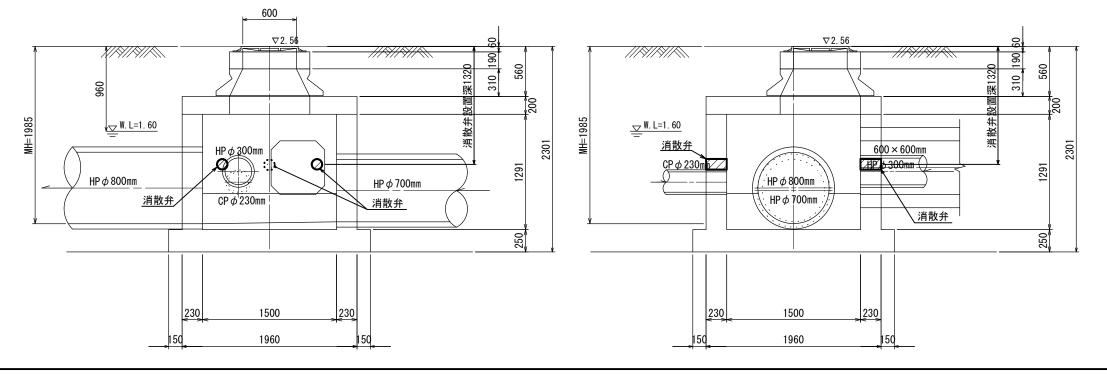


【消散弁設置の留意事項】

- 1. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2. 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

A-A 断面図

B-B 断面図



※この図面はA2サイズを原寸とする

然この四面はAとり1人を示りこする				
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事			
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内			
図面名	M80 非開削工法工法詳細図			
縮尺	1/30 図面番号 1 5/2 4			
事業所名	津市下水道局下水道建設課			

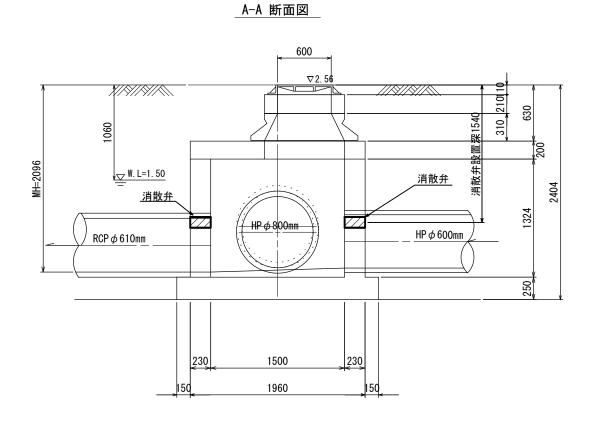
M81 非開削工法詳細図 (人孔内施工)s=1/30

消散弁4箇所設置

【消散弁設置の留意事項】

- 1, 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

Α



1980

1500

消散弁

消散弁

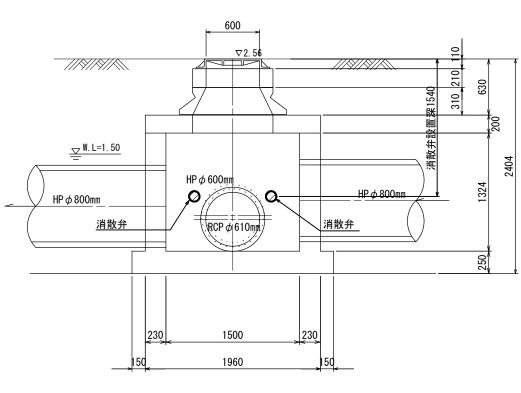
 $\mathsf{RCP}\,\phi\,\mathsf{610mm}$

250

消散弁

 ${
m HP}\,\phi\,600$ mm

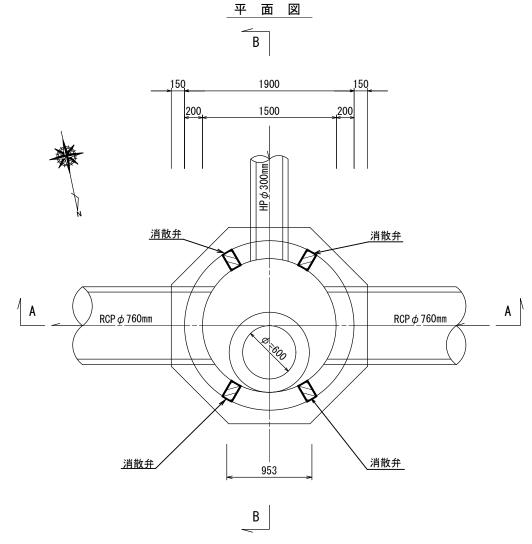
、<u>消散弁</u>



B-B 断面図

M-SEE STATE				
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事			
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内			
図面名	M81 非開削工法詳細図			
縮尺	1/30 図面番号 16/24			
事業所名	津市下水道局下水道建設課			

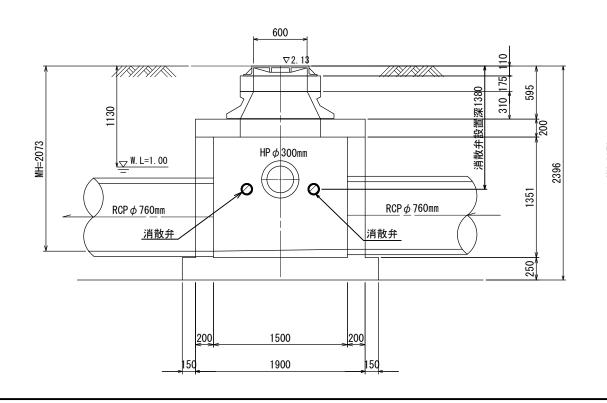
M87 非開削工法詳細図 (人孔内施工) S=1/30 消散弁4箇所設置

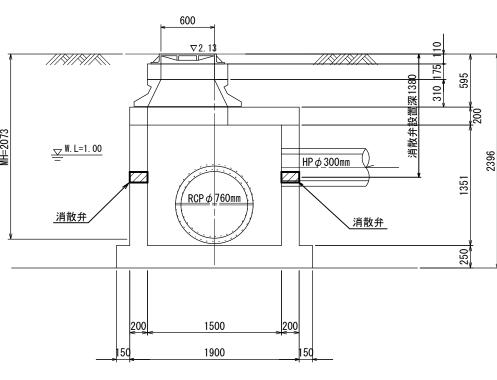


【消散弁設置の留意事項】

- 1, 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3. 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

A-A 断面図

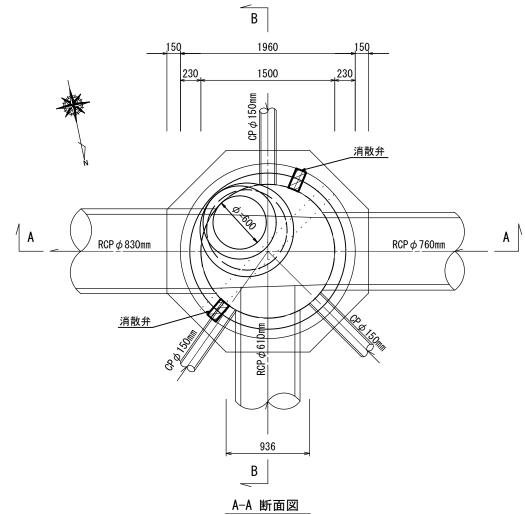


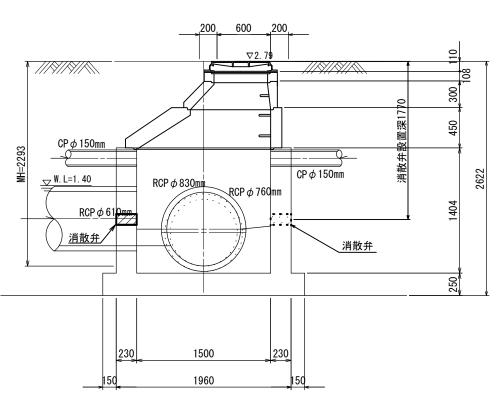


※この図面はA2サイズを原寸とする

※この図画はA Z リイスを原うこ 9 る				
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事			
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内			
図面名	M87 非開削工法詳細図			
縮尺	1/30 図面番号 17/24			
事業所名 津市下水道局下水道建設課				

平 面 図 M97 非開削工法詳細図 (人孔内施工) S=1/30 消散弁 2 箇所設置





【消散弁設置の留意事項】

- 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

※この図面はA2サイズを原寸とする

工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事		
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内		
図面名	M97 非開削工法詳細図		
縮尺	1/30 図面番号 18/24		
事業所名	津市下水道局下水道建設課		

平面図 M98 非開削工法詳細図 (人孔内施工) \$=1/30 // 消散弁 4 箇所設置 A RCP φ 760mm A A RCP φ 760mm A

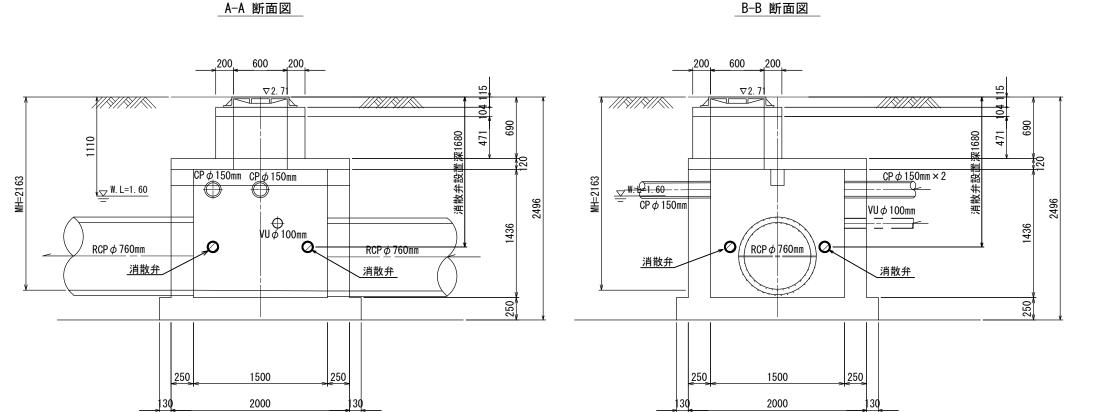
消散弁

936

В

【消散弁設置の留意事項】

- 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

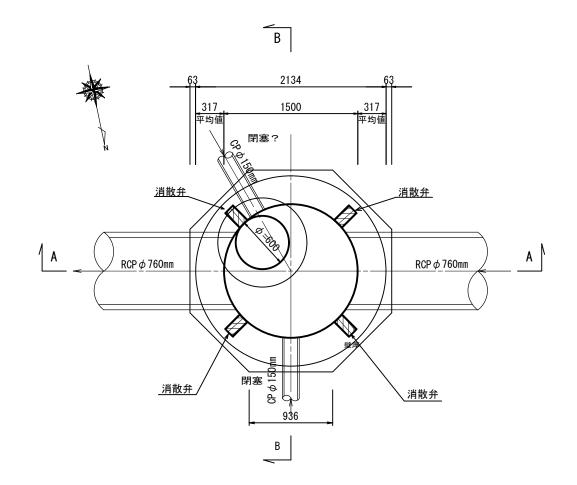


次この区面はA Z リイスを原うこ 9 つ				
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事			
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内			
図面名	M98 非開削工法詳細図			
縮尺	1/30	図面番号	19/24	
事業所名	名 津市下水道局下水道建設課			

M99 非開削工法詳細図 (人孔内施工)s=1/30

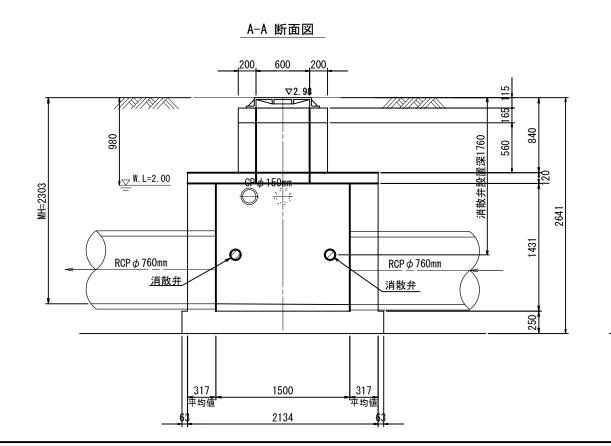
消散弁4箇所設置

平 面 図

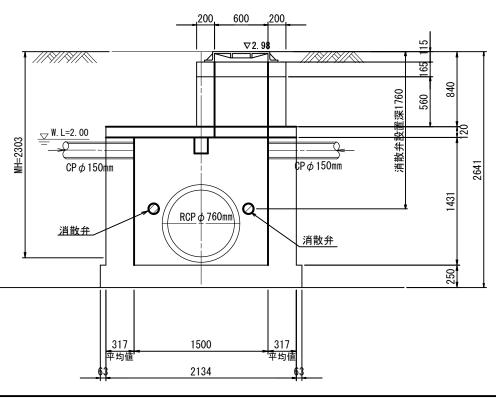


【消散弁設置の留意事項】

- 1. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

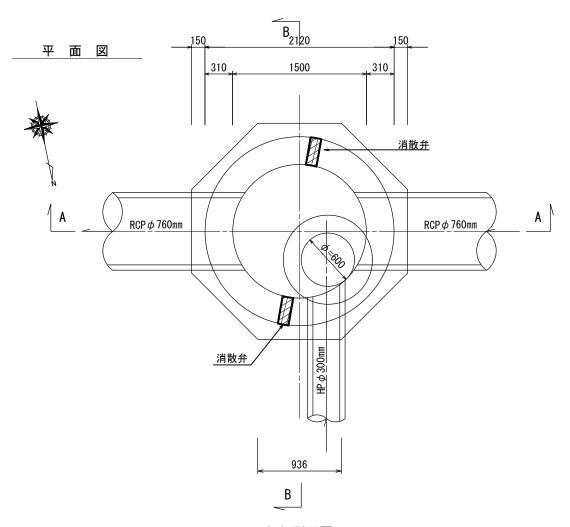


B-B 断面図



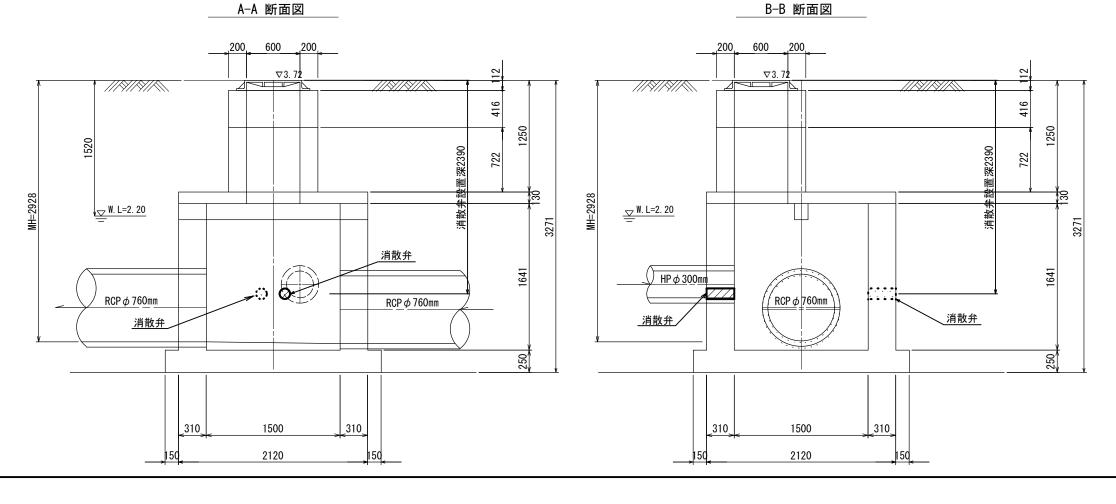
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事		
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内		
図面名	M99 非開削工法詳細図		
縮尺	1/30 図面番号 20/24		
事業所名	津市下水道局下水道建設課		



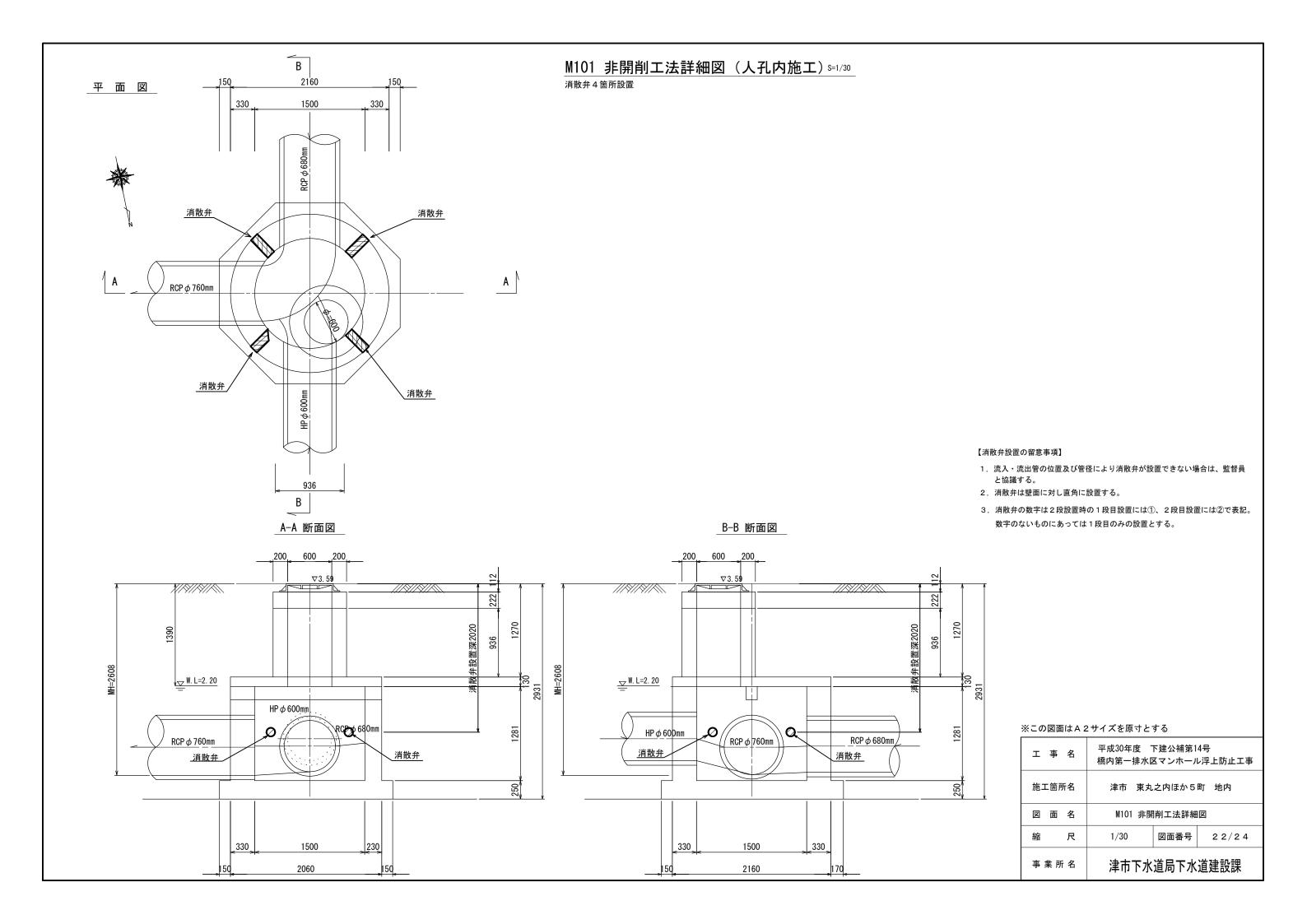


【消散弁設置の留意事項】

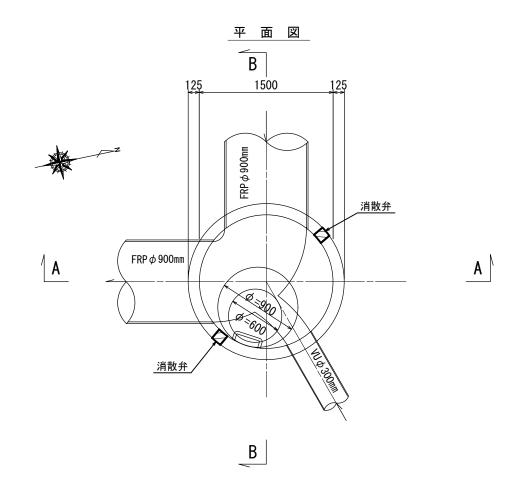
- 1. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員 と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3, 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。



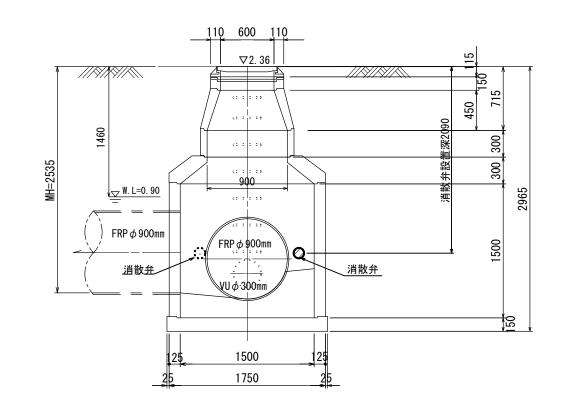
然この四面はAとリイスを示りこする				
工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事			
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内			
図面名	M100 非開削工法詳細図			
縮尺	1/30 図面番号 2 1/2 4			
事業所名	津市下水道局下水道建設課			



M200 非開削工法詳細図 (人孔内施工) S=1/30 消散弁2箇所設置



A-A 断面図 B-B 断面図



110 600 110 ∇2.36 ∇2.36 W. L=0.90 消散弁 FRP φ 900mm FRP φ 90

【消散弁設置の留意事項】

- 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、監督員と協議する。
- 2, 消散弁は壁面に対し直角に設置する。
- 3. 消散弁の数字は2段設置時の1段目設置には①、2段目設置には②で表記。 数字のないものにあっては1段目のみの設置とする。

※この図面はA2サイズを原寸とする

工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事			
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内			
図 面 名	M200 非開削工法詳細図			
縮尺	1/30	図面番号	23/24	
事業所名	津市下水道局下水道建設課			

舗装復旧展開図 S=1/100

0 0

N 01

0

0

20

0

 ∞

/

0

Ó

Z

0

Ŋ

Ŋ

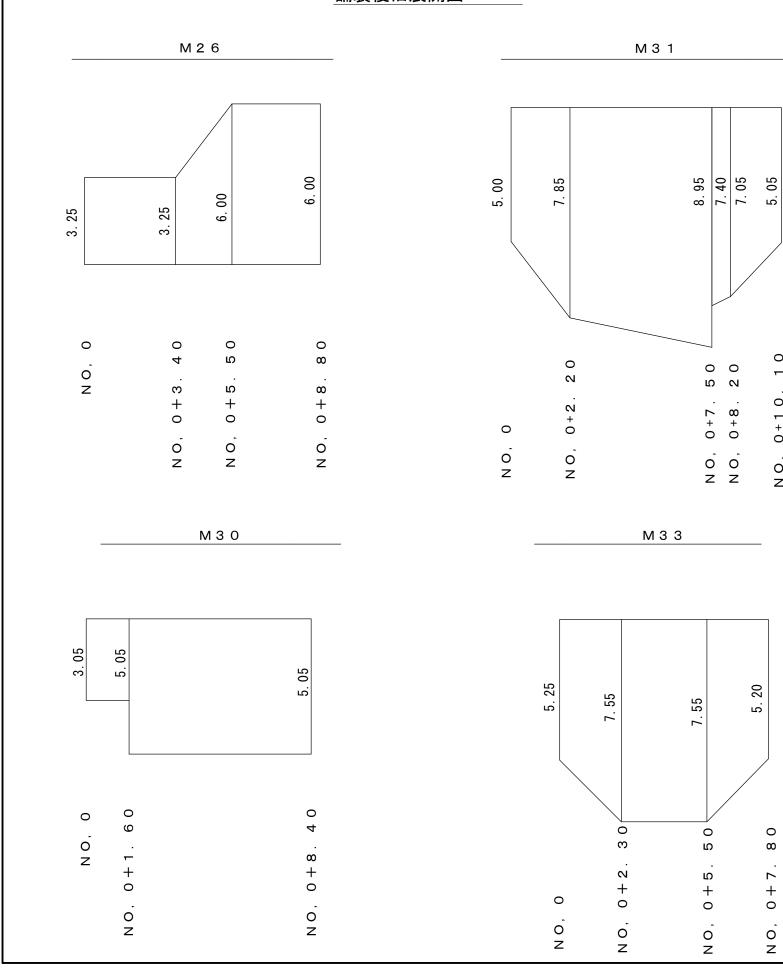
0

. 0 Z

0 + 7 .

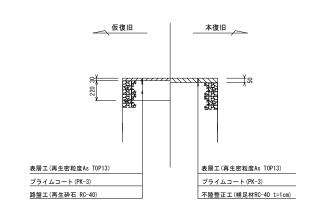
0 0

z z

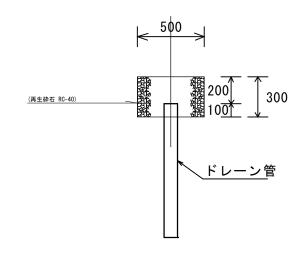


舗装復旧工

___車道部____



ドレーン設置図 S=1/20



※この図面はA2サイズを原寸とする

工事名	平成30年度 下建公補第14号 橋内第一排水区マンホール浮上防止工事
施工箇所名	津市 東丸之内ほか5町 地内
図面名	舗装復旧展開図、ドレーン設置図
縮尺	図示 図面番号 24/24
事業所名	津市下水道局下水道建設課